

住宅の耐震化をキーワードに最新の家づくりを紹介 ～専門家による住まいの復興相談を展開～
「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」を開催！

7月12日（土）・13日（日）夢メッセみやぎ（全館）にて **入場無料**

■ニュースポイント■

7月12日（土）、13日（日）の2日間、住宅用の木材・建材メーカーや東北地方で活躍する工務店、行政機関、金融機関などが一堂に介し、住宅の耐震化をキーワードとした最新の家づくり紹介と被災された方々の住宅再建相談にお応えする「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」を、夢メッセみやぎで開催いたします。

「2014年防災白書」（6月20日閣議決定）によると、東日本大震災発生から3年が経過した今もおよそ26万人の方々が避難を続けている状況です。避難者のうち約10万人の方々は仮設住宅での生活を続けており、避難の長期化によって健康や生活面の影響が懸念されています。

また、防災集団移転促進事業による宅地造成工事の着手が進んでいる一方、石巻市以北エリアなどでは造成工事の多くはこれから完了を迎えるものであり、住まいの復興は今後本格化される見込みとなっています。「住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア」では、住まいづくり総合相談コーナーにおいて専門家や行政担当者らが住宅再建に向けたあらゆるご相談に応じるほか、家づくりに関する様々な情報を発信し、安全・安心な住まいの復興に向けたお役立ちに努めます。

■見どころご紹介■

①耐震ゾーン（住宅の耐震化や防災対策を促進）

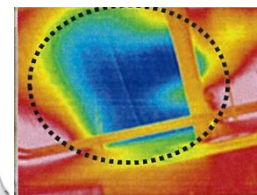
耐震改修などの技術研修や技術者認定を工務店様に対して行うNPO法人住まいの構造改革推進協会が中心となり、耐震性に関するご相談に専門家が無償でお応えします。

「旧耐震基準（～1981年）」「新耐震基準（1981～2000年）」「現行の新耐震基準（2000年～）」と建築年ごとの危険性や注意点などを動く耐震模型を使って分かりやすく説明し、耐震改修の「今」を知っていただきます。

このほか、耐震診断や定期点検に活用する最新機材の実演を行います。遠隔操作で床下や天井裏の点検が可能な「ジオス・アイ・ロボット」、壁体内の温度差を測定して断熱材の有無や雨漏りなどの異常を映し出す「ハンディ・サーモカメラ」、外壁や屋根の塗料劣化やひび割れなどを正確に診断する「ワイヤレス・マイクロスコープ」を実演します。



床下点検用ロボット



ハンディ・サーモカメラによる屋根裏の雨漏り映像

②住まいづくり総合相談コーナー（専門家や行政担当者にご相談に対応）

金融機関6行（七十七銀行、杜の都信用金庫、みずほ銀行、りそな銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行。順不同）や住宅金融支援機構、税理士の専用窓口を設置し、災害復興住宅融資や住宅ローン、税金など、東北地方にお住まいの方々の様々なお悩みに無料でお応えします。

また、宮城県土木部による住宅再建に関する補助金情報や、宮城県住宅供給公社による分譲地情報など、行政による個別ブースも設置され、災害公営住宅や各種補助金など住宅再建に関する様々な情報を発信します。



■宮城県地域型復興住宅推進協議会が被災された方々の住宅再建の相談に応じます。

地域の住宅生産者団体と県が連携して地域にふさわしい良質な復興住宅を推進する「地域型復興住宅推進協議会」が、林野庁と復興庁による「復興に向けた木の暮らし創出支援事業」や国土交通省支援の「地域型復興住宅モデルプラン」とその生産者グループの紹介を行い、住宅再建に向けた個別相談に応じます。

③木材ゾーン（地域の木材を利用した家づくりを促進）

政府による「国土強靱化計画」や「成長戦略」によって国産材の利用促進方針が加速するなか、東北地方の5県（岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）が注目高まる地域材を展示します。産地や樹種によって木肌や風合いが異なる木材の特徴を生かし、和の内装空間やデッキテラス、庭の演出などの利用方法を提案し、木材を感じていただきます。

また、関心高まる木造非住宅建築物では、構造躯体と内装に木材を用いた実物大「老人ホームモデル」を展示します。



④ ゼロ・エネルギー住宅「ゼロエネ 10」を初展示

2020 年における新築住宅の標準的な性能として政府が普及を目指す「ゼロ・エネルギー住宅」の実物大構造躯体を展示します。

今回は、最大天井高 2,430mm の小屋裏(ロフト)を確保した「フェニーチェホーム・メザニン」の屋根に、10kW 以上の太陽光パネルを搭載した最高等級品質住宅「ゼロエネ 10」が仙台で初登場します。



⑤ 2つの実物大オープン型モデル「昭和の家・今の家」

1980 年以前築の旧耐震基準住宅を「昭和の家」、2014 年築の改正省エネ基準に適合した住宅を「今の家」として、2つの実物大オープン型モデルを展示します。普段あまり見ることでできない住宅の内部を見えるようにして、「耐震」「断熱」「省エネ」「バリアフリー」などの性能において、それぞれの住宅の違いをご紹介します。



⑥ 最新技術のエコ住宅やエコ商品をご紹介します

住宅の大切な要素であるエコについて、最新の省エネ機器を展示するほか、太陽光パネルや蓄電池、HEMS (ホーム・エネルギー・マネジメント・システム) などの特長紹介を行います。スマートハウスやゼロ・エネルギー住宅、認定低炭素住宅などの家づくりについても、分かりやすくご紹介いたします。



⑦ 住宅のメンテナンスとシニア向けリフォームを提案

住宅を適切に維持管理し、長期間にわたり安全性や快適性、資産価値を保つ方法をご紹介します。屋根や外壁、シロアリ対策などの最適メンテナンスのご紹介をはじめ、節水トイレやシャワーヘッド交換による簡単節約術、シニアライフに備える「高齢者疑似体験」や安全安心の住まいづくりセミナーなどを行います。



■大型木造建築新時代セミナー (参加無料、予約制 TEL : 045-505-5402)

	時間	タイトル	講師
7 月 12 日 (土)	10:20~ 11:20	都市木造 第2ステージへ	秋田公立美術大学准教授 NPO 法人 team Timberize 副理事長 小杉 栄次郎 氏
	11:40~ 12:40	大型木造の防耐火基準 ~法改正と今後の可能性~	早稲田大学理工学術院教授 長谷見 雄二 氏
	14:00~ 15:00	オリンピックに向けて ハイブリッド木造の可能性	東海大学教授 杉本 洋文 氏
	15:20~ 16:20	木質構造の新しい展開	東京都市大学教授 大橋 好光 氏

■開催概要

日時 : 2014 年 7 月 12 日 (土)・13 日 (日) 10:00~17:00 (最終日は 16:00 まで)
場所 : 夢メッセみやぎ (全館) 入場料 : 無料

■住まいの耐震博覧会とは

2002 年からスタートし、仙台をはじめ、東京、名古屋、大阪、福岡など全国の主要都市で開催しています。仙台では 2003 年から開催し累計来場者数は 10 万人を超え、今回が 10 回目の開催となります。全国での累計来場者数は 146 万人で、住宅の地震対策に関する総合展示会として国内最大級の規模となっています。

◆開催に関するお問い合わせ

住まいの耐震博覧会・すまい元気フェア事務局 TEL : (022) 261-8808 宮城県仙台市青葉区一番町 1-9-1 仙台トラストタワー19 階

◆本プレスリリースに関するお問い合わせ

ナイス株式会社 広報室 渡利・宮川 TEL : (045) 501-5048 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-33-1 ナイスビル 8 階